令和８年度　金沢福祉センター　大規模改修工事　質疑回答一覧

No.	質　問	回　答
1	工期が、A-01では「令和8年12月1日～令和9年3月31日（約4か月）」、見積・共通仕様書では「令和8年12月1日～令和9年2月28日」となっており一致しません。どちらを正とすればよろしいでしょうか（内訳書の外部足場は設置3か月で計上されています）。	見積・共通仕様書を正としてください。
2	A-02では工事用水・電力が「利用できる（※有償）」、見積・共通仕様書では「施設内から無償で利用する事が出来る」となっています。無償との理解でよろしいでしょうか。	宜しい。
3	家具移動及びカーテン等の養生・保管が「行う」、改修後の床清掃が「当該室全体」となっていますが、内訳書には内部養生・整理清掃後片付け（建具改修 各22.9㎡）のみ計上されています。対象範囲と計上方法（内部養生・整理清掃に含むか）をご教示願います。	共通仮設費に含んでください。
4	A-01 内部③「分電盤の回路系統の明確化（電気設備工事）」は電気設備工事とされていますが、種目内訳書に電気設備工事の項目がありません。 A-08 電気特記では「14 ①事前調査（各階分電盤）」のみが適用となっていることから、建築工事 A-10「分電盤 回路系統明確化 1式」に計上する扱いでよろしいでしょうか。	宜しい。
5	A-08 14-①では「表示された負荷名称に対応した室・廊下・コンセント・電灯等の現状調査を行い、整理・記録及び報告書を提出すること」とあります。 作業は現状調査・整理・記録・報告書提出で、配線の改修は含まないとの理解でよろしいでしょうか。また対象分電盤の面数、回路表・表示銘板の作成・貼替えの有無をご教示願います。	改修は含みません。 対象分電盤の面数等については実施願います。
6	共通費内訳の一般管理費等の行の名称が「現場管理費」、種目内訳書の件名が「障害者地域活動ヒーム」となっています。それぞれ「一般管理費等」「ホーム」の誤記と判断してよろしいでしょうか。	ご指摘の通りです。 P.20　共通費：一般管理費等の細目名称：一般管理費等 P.01　工事名称タイトル：障害者地域活動ホーム金沢福祉センター大規模改修工事(令和８年度) が正となります。
7	A-12では軒裏が「石綿セメント板」となっていますが、A-05 9-1-5「アスベスト含有成形板の除去工事」には適用の印がありません。①軒裏換気孔のやり替え（既存孔の撤去・ガラリ取付に伴う切断・穴あけ）を石綿含有成形板の除去作業（レベル3）として見込む必要があるか、②含有分析8か所の対象部位と分析方法（定性／定量）、③アスベスト粉じん濃度測定（測定表が空欄）の実施の有無と測定点数、④調査で含有が判明した部位の除去・処分費用は別途協議（設計変更）扱いか、をご教示願います。	換気孔のみの交換で天井材についての撤去・改修等は見込みません。 (かつ同一での撤去新設です)

8	防水工事10年保証の対象部位はバルコニー、テラス、塗り床が対象となり、シーリングの打ち替えについては材料の5年保証とし、空調機器類の保証は対象外と考えてよろしいでしょうか。	宜しい。
9	特記仕様書の交通誘導員の日数・人数が空欄です。内訳書の30人で見積してよろしいでしょうか。また道路使用許可・管轄土木事務所への申請手数料は本工事に含むとの理解でよろしいでしょうか。	30人は、計画数量です。 想定を上回らないよう適宜ご判断下さい。 道路使用許可・管轄土木事務所への申請手数料については、共通仮設費に含んでください。
10	A-06では「工事車両の駐車は原則別途確保することとし、路上には絶対に駐車しない。」、見積・共通仕様書では「工事用の駐車場は施設で許可した範囲において利用することが可能」とあります。敷地内に駐車可能な台数・範囲をご教示願います。敷地外の駐車場借上げ費は見込まなくてよろしいでしょうか。	敷地内駐車は、施設と協議の上設定する。 借上げ費は見込まない。
11	外壁の養生・整理清掃が139㎡に対し、外壁サイディング塗替え229㎡、外壁・手摺壁高圧洗浄309㎡となっており数量が一致しません。外壁養生の計上数量をご確認願います。	仮設工事は、計画数量なので、積算基準にて計上しております。 外壁長さ×2.0ｍが対象です。
12	A-12では部分補修が「全体の5%程度」（屋根A 217㎡×5%≒10.9㎡）とされていますが、内訳書は「部分補修シーリング 20×10程度 10.8m」と延長（m）で計上されています。計上単位（㎡／m）と補修内容をご確認願います。	内訳書を正としてください。 ウレタン系屋根補修材使用。
13	A-12では屋根A 棟包（下り棟共）廻りのコーキングが「変成シリコン系10×10」とされていますが、内訳書の「屋根金物取合」は15×15程度で計上されています。断面寸法をご確認願います。また屋根伏図（A-23）から読み取れる棟包・取合い水切の延長に対し195mは多いように見受けられます。数量の対象範囲（屋根Bの金物取合い等を含むか）をご教示願います。	15×15を正としてください。 屋根A　棟包：9.85×2、下り棟：(8.91+8.91)×1.064×2、軒先唐草：16.15+12.60+16.15、壁取合水切り：12.60×1.064 屋根A計：151.26m 屋根B　下り棟：(1.90×1.414×1.049)×2、軒先唐草・破風：1.90+6.05+1.05+5.25、壁取合水切り：(1.90×1.414)×2+(6.05-1.90×2)+5.25 屋根B計：44.16m
14	新規シーリング数量合計（195+445+105+54.6+57.1+8.4+215+62.3＝1,142.4m）とシーリング撤去数量1,135mが一致しません。差異の内容（換気口新設分8.4m等）をご確認願います。	積算上での四捨五入の関係で、差異が生じます。

15	東面タイル廻り（20×20）、設備配管廻り（15×15）及びバルコニー飾り窓廻りのシーリングは、内訳書のどの項目（「建具取合 20×20程度」等）に含まれているかご教示願います。またA-12特記事項の「雨水漏水の調査共」の範囲（調査方法・報告の要否）をご教示願います。	東面タイル廻り（20×20）：最終行の項目 　建具取合ｼｰﾘﾝｸﾞ 20×20　62.3ｍ　に、含まれます。 設備配管廻り（15×15） 　ウェザーカバーやり替えに伴う部分、2ｍ程度。 バルコニー飾り窓廻りのシーリング 　新設　0.583×4×5×2＝23.32 → 23.3ｍ 　撤去　1,135ｍ → 1,158ｍ 　積込・運搬・処分は四捨五入の端数処理の関係上変わりません。 雨水漏水の調査 　東面タイル廻り解体時に確認できる部分についての報告
16	A-03では、コンクリート打放し仕上げのひび割れ部改修として、シール工法 0.2未満 0.40m、Uカットシール材充てん工法（可とう性エポキシ樹脂）0.2～0.3未満 1.89m・0.3～0.5未満 3.55m・0.5～1.0未満 3.92m（計9.76m）が記載されていますが、内訳書に該当項目がありません（近いものは左官「避難滑り台支脚 樹脂コンクリート補修 ひび割れ補修共 0.7㎡」のみ）。施工箇所と計上方法（避難滑り台コンクリート根巻の補修に含むか、別途計上か）をご教示願います。	お見込みの通り。 避難滑り台支脚 樹脂コンクリート補修。
17	一部下地共（サッシ下部廻り）の下地補修（ラスモルタル補修等）の項目・数量が内訳書にありません。下地補修の範囲・数量をご教示願います。またA-03 4-④ タイル張りの表（形状寸法・役物・色）が空欄のため、張替タイルは既存同等品（小口レンガタイル、色合わせ）、張付け材はA-03 4-①のポリマーセメントモルタルとの理解でよろしいでしょう	下地補修の数量は、2.5㎡　範囲は既図示。 タイル形状等、既存同等品以上。お見込みの通り。
18	ポーチ壁の小口レンガタイル新設（撤去部取合い）の項目（タイル張り・下地）が内訳書に見当たりません。A-3 小口タイル8.8㎡に含まれているのか、別途計上が必要か、数量をご教示願います。	0.24㎡追加ください。
19	A-04 塗装改修の特記では鉄鋼面・亜鉛めっき鋼面は「③合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）」のみ適用となっていますが、A-12仕上表では鉄部・樋等が「ファインウレタンU100同等品以上」、内訳書では「DP塗装塗替え3級 ウレタン系」となっています。A-12仕上表（ウレタン系DP）を正として見積してよろしいでしょうか。	内訳書を正としてください。
20	化粧破風板・鼻隠し・壁取合い水切の塗装は、内訳書「棟・軒先・取合金物 DP塗装塗替え（細幅物）120m」に含まれているとの理解でよろしいでしょうか。また1階軒裏廻りの化粧破風板・鼻隠し（A-26）も同項目に含まれるかご教示願います。	左記項目は、屋根A,B共に含んでおります。 合計 120ｍで積算しております。
21	風見鶏及び東面天井裏ガラリ換気孔（240×360、2か所）のケレン清掃が内訳書に見当たりません。計上方法をご教示願います。	ガラリ：0.30×0.30×2=0.18 → 0.2㎡

22	軒樋は延長59.8m（勾配調整・洗浄）に対し、塗装は70.7㎡（面積）で計上されています。展開面積（支持金物共）による計上と理解してよろしいでしょうか。	軒樋の長さは、59.8ｍですが、塗装数量(面積)に誤りがあります。 軒樋　屋根A：16.25+12.80+16.25 = 45.30 → 45.3ｍ 屋根B：2.00+6.25+1.05+5.20 = 14.50 → 14.5ｍ 塗装は軒樋をW150×H120。 120+150+120　糸長さ390ｍｍ×2(両側)で算出しておりますが 屋根A：45.30×0.39×2 = 35.33 屋根B：14.50×0.39×2 = 11.31 35.33+11.31 = 46.64 → 46.6㎡ が正でした。
23	内訳書ではテラスが「エポキシ樹脂系」、バルコニーが「アクリルウレタン樹脂系」の塗床となっていますが、A-12の指定製品（カラートップF、アーバントップ）を正として見積してよろしいでしょうか。	内訳書を正としてください。
24	テラス・バルコニー床の塗装に伴う既存室外機の持ち上げ（架台利用）の項目が内訳書にありません。対象台数と計上方法（冷媒配管の一時切り離しの要否を含む）をご教示願います。	既存室外機対象台数 1階テラス：3台　2階バルコニー：5台 冷媒配管の一時切り離し、不要。
25	バルコニー塗床は床31.8㎡＋巾木（立上り）54.8㎡＝86.6㎡に対し、高圧洗浄は「バルコニー床・巾木 37.3㎡」です。巾木（立上り）54.8㎡及び洗浄数量をご確認願います。	巾木：54.75 → 54.8m　が正です。 ですが、内訳書・単価は㎡単価で設定しておりますので、 内訳数量　誤：54.8㎡、正：5.5㎡　となります。 結果、塗床と高圧洗浄は一致します。
26	建具表の既存建具（WD11～WD14 計6か所、扉面積計 約11.2㎡、型板ガラス600×700×6枚＝約2.5㎡）に対し、内訳書の撤去数量は木製建具7㎡、ガラス2.1㎡です。撤去数量の算定根拠をご確認願います。	ご指摘の通り 木製建具撤去　：　11.2㎡ ｶﾞﾗｽ撤去　：　2.5㎡ が正です。
27	仕上表の便所・倉庫(2)・ホール等の壁欄に「建具改修補強材」とありますが、内訳書に該当項目が見当たりません。A-04 6-⑩（軽量鉄骨壁下地）に○が付いていることから、補強材はLGSとの理解でよろしいでしょうか。また取合い壁の石こうボード張替え（6-㉑）の要否と、計上方法（自閉式吊り片引戸の付属金物等に含めてよいか）をご教示願います。	宜しい。（両質疑とも）
28	2階男子・女子便所（既存：長尺合成樹脂系床材 t=1.8）及び2階倉庫(2)（既存：ビニルタイル）の床について、仕上表では長尺塩ビ床材 t=2.0、展開図特記では既存同材となっています。内訳書（ビニル床タイル0.8㎡計上）のとおり既存同材と理解してよろしいでしょうか。またA-04の壁紙張り（6-㉓）・内装タイル張り（6-㉔）の表が空欄のため、クロス・タイルも既存同等品との理解でよろしいでしょうか。	宜しい。（両質疑とも）
29	スノコ棚本体（ラワン材 柱・根太・スノコ、OSCL）の製作・取付の項目が内訳書にありません（A-8 OSCL塗装13.8㎡のみ計上）。本体の計上方法をご教示願います。	既存同材　寸法図示（A-22・29） 一式計上してください。

30	A-12では既存換気孔が300×150ですが、内訳書の新設換気口・撤去は200×100で計上されています。新設ガラリの寸法・材質（SUS／アルミ）・防虫網の有無をご教示願います。	300×150が正としてください。 SUS製　防虫網 あり
31	雨水桝の堆積物除去・高圧洗浄の項目が内訳書にありません（軒樋・竪樋の高圧洗浄のみ）。雨水桝の箇所数と計上方法をご教示願います。	たて樋の地盤面に桝があると思いますので、雨水桝の堆積物撤去については、竪樋の高圧洗浄に計上してください。
32	既存アコーディオン門扉の幅が、現況図（A-30）では約4,390、内訳書の撤去項目ではW3600×H1250となっています。撤去門扉の寸法をご確認願います。また門扉旧レール（現受け材）の撤去は門扉撤去に含むとの理解でよろしいでしょうか。新設門扉（W4600×H1250、受け材共）の指定メーカー・品番・材質・施錠方式をご教示願います。	図面A-30より、W4,300が正としてください。 門扉旧レール（現受け材）の撤去は、門扉に含みます。 四国化成 ニューハピネスHG NHGC-465S（H12）同等品以上 施錠はシリンダー錠
33	A-05 12-⑧では表層「再生密粒度アスファルト混合物(13)」・基層「再生粗粒度(20)」（※印）、12-⑥では路盤材料「〇クラッシャラン C-40」となっており、図面の「浸透アスファルト・再生クラッシャラン（RC-40）」と一致しません。図面（透水性舗装・RC-40）を正として見積してよろしいでしょうか。また12-⑨よりコンクリート舗装（C-10-15）には溶接金網（※あり）を含むとの理解でよろしいでしょうか。	浸透ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装は、密粒度ｱｽｺﾝ A-5-15。 再生クラッシャラン（RC-40）。 溶接金網ありで、C-10-15。
34	建設発生土の処理（〇印）の処理方法（構外搬出／構内敷きならし等）が選択されていません。舗装撤去・植栽撤去・機械工事の根切りに伴う発生土について、内訳書には発生土の処分項目が見当たりません（植栽客土1.3m3のみ）。処理方法と計上の要否をご教示願います。	構内指示の場所に敷きならす。を、正としてください。
35	手足洗い場の仕様（既製品／現場打ち、材質・仕上、立上り高さ）をご教示願います。また図示の水栓（3か所）について、A-10では「屋外 〇耐寒水栓（JWWA認証品）」「器具付属水栓 固定こま式（節水こま式）」とされていますが、水栓金具の計上が建築・機械のいずれにも見当たりません。計上方法をご教示願います。	手足洗い場（本体） 　株式会社サカエ WAC-1020 同等品以上 集水桝（本体対応品） 　株式会社サカエ WQC-361 同等品以上 水栓については、本体に内蔵。
36	A-05 13-⑩より屋外はコンクリート製との理解でよろしいでしょうか。あわせて色、施工方法（舗装埋込／貼付け）をご教示願います。	コンクリート製 300角　既存同材品以上
37	道路復旧の仕様（舗装構成）は管轄土木事務所の指示によるとの理解でよろしいでしょうか。また撤去したガードレールの処分先（道路管理者返納／産廃処分）をご教示願います。	道路復旧の仕様は土木事務所の指示による。（要協議） ガードレールの処分について設計では、内訳書 A -15 処分費の混合廃棄物に計上していますが、これもまた土木事務所の指示による。

38	混合廃棄物の積込み10.2m3に対し、運搬・処分は10.4m3となっています。数量をご確認願います。また運搬欄に「内装材積込み 樹木 6.8m3」と記載されていますが、「発生材運搬費 樹木」の誤記と判断してよろしいでしょうか。	とりこわし工事で、積込み共と記載してある ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去　3.8m3 ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ舗装撤去　1.1m3 ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装・土間ﾀﾀｷ撤去　1.8m3 については、積込みを見込んでおりませんので、積込みと運搬・処分費とは一致しません。 ｱｽﾌｧﾙﾄの積込みを計上していないのは、このためです。 ｺﾝｸﾘｰﾄ類の数量が一致しないのは、ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装・ﾚﾝｶﾞ・ﾀｲﾙ舗装分です。 混合廃棄物はﾚﾝｶﾞ・ﾀｲﾙ舗装のﾚﾝｶﾞ・ﾀｲﾙ分を運搬費から加算しているためです。 発生材運搬費の樹木については、誤記です。 誤：内装材積込み 正：発生材運搬費 です。
39	門扉・ガードレール・カーブミラー・換気孔金物等の金属くずの処分（または有価物売却）項目がありません。処分費の計上は不要（有価物扱い）でよろしいでしょうか。	左記項目は、金属類は混合廃棄物でまとめております。
40	A-01では「FD・防虫網付ウェザーカバー」ですが、内訳書の品名には防虫網の記載がありません。防虫網付きと理解してよろしいでしょうか。またFDの温度ヒューズ仕様（72℃／120℃）をご教示願います。なお、機械設備の足場（A-09 1-⑪）は建築工事の外部足場を利用するとの理解でよろしいでしょうか。	防鳥網を正としてください。 温度ヒューズ仕様は、120℃としてください。 足場について、そのほか適宜脚立足場をお見込みください。
41	A-10 機械特記では排水桝が「材料 RC」「ふた ステンレス製グレーチング」となっていますが、内訳書（別紙-5）及びA-31では「プラスチック桝200φ・塩ビ蓋・防護蓋」となっています。内訳書・図面（プラスチック桝）を正として見積してよろしいでしょうか。	宜しい。
42	①給水管と既存バルブユニット（バルブボックス）との接続費・止水作業の項目が見当たりません（排水は別紙-3で既存管接続を計上）。M-1に含むと理解してよろしいでしょうか。②手足洗い場への立上り露出配管の管種（A-10 7-③ 一般用はSUS管・塩ビライニング鋼管VBの2つに〇）と、7-⑧の屋外露出配管の保温（呼び径25mm以下 厚50mm）の計上がありません。計上の要否をご教示願います。	①は、含む。 ②は、ユニット工事に含む。なお、露出配管はありません。 質問35にも同様な質疑回答があります。
43	内部工事（便所・厨房の建具やり替え）は土日祝日・年末年始に行う前提とありますが、外部工事（足場・高圧洗浄・塗装）の平日の作業可能時間帯（例 9:00～17:00）及び騒音作業の制限時間をご教示願います。	施設と協議の上設定する。
44	タイルのやり替え工事がありますが、既存タイルは入手不可能と思われますが、類似タイルでもよろしいのでしょうか	宜しい。
45	分電盤の回路系統明確化ございますが、内部ブレーカーを調査して電線にタグをつけたり、ブレーカーに回路名を付けたりする程度と理解してよろしいですか。	宜しい。
46	工期に関して＋2か月くらいのフレキシブルな対応は可能でしょうか	工期の延長は困難です。